

こんにちは！近畿益田会です。

近畿地方で活動される各島根県人会・市町村人会のご紹介です。
第五回目は、近畿益田会のご紹介です。



近畿益田会

会長 早内 高士

日本一の清流、高津川。秘境の景勝地・匹見峡、そして夕日が眩しく映える山陰海岸―。「一流の田舎まち」を目指すわがふるさと益田市との架け橋と「益田に空港を―」を合い言葉に、近畿在住の益田市出身者で産声を上げた、わが「近畿益田会」も今年で創立二十五周年を迎えました。

中世の豪族、益田氏が開いた益田は、氏の居城だった七尾城趾や雪舟庭園などの中世文化が色濃く残り、柿本人麿呂神社や太古の遺跡群が点在する日本史のふるさとでもあります。温暖な気候に山と川と海・・・日本の自然の美しさが凝縮された四季の移ろいの中で生まれ育った私たち益田人。そんな誇れるふるさとを後に、夢を追っかけて、近畿地域で貴重な人生を紡いできた近畿益田会の会員は現在約百八十人。今回発刊しました二十五周年記念誌「よう、がんばりんさったネエ」には、会員の皆さんの、ふるさとを後にして波瀾万丈の半生を歩んでこられた壮絶な人生ドラマが綴られています。

日本屈指の伝統芸能、石見神楽を鑑賞しながら懐かしい石見訛りが飛び交う毎秋の定期総会をはじめ、今年年末に百回を迎える月例ハイキングや十三回を数える毎春秋の親睦ゴルフ大

会など定例の集いのほか、婦人部主催の楽しい旅行会、さらには萩・石見空港マラソン全国大会や益田まつりなどのふるさとのイベントへの参加などでふるさと益田との交流も積極的に進んでいます。

また、姉妹都市を提携している高槻市との交流も盛んで、高槻駅前の「姉妹都市交流センター」や在阪デパートなどでの物産市や石見神楽公演など、益田会の会員だけでなく、関西の人たちにもふるさとをアピール。昨年から益田会のホームページも立ち上げて益田市と益田会をPRしています。二十五周年を機に、さらに新しい血を注ぎ、次代に繋げていきたいと会員一同、がんばっています。



第90回記念・城陽市青谷梅林ハイキング

近畿益田会事務局

事務局長 石田 亘

〒599-8242 堺市中区陶器北 1390-2

TEL:072 (236) 9560

HP: <http://www.cy-net.co.jp/kinkimasudakai/>